

2020 年度国際教養学部 FD 活動方針・活動計画

国際教養学部 2020 年度 FD 委員会委員 後藤邦夫

2020 年度は完成年度であり、4 年次までの授業の円滑な実施、全科目でのアクティブ・ラーニングの活用を中心に、以下の活動を計画する。

1. 円滑な授業実施(継続)

全教員間の連携を密にして、授業実施上の問題は速やかに解決する。特に 4 年次の演習と卒業研究の情報を共有する。

2. FD 勉強会・報告会の開催(継続)

学部教員全員を対象とする FD 勉強会・報告会を開催する。各教員のこれまでの担当授業や研究分野の紹介も継続する。

3. FD 講演会の開催(継続)

FD 講演会を開催し、学部教員の FD 活動に対する意識向上を図る。

4. 教育効果の点検評価(継続)

全学共通の「学生による授業評価」の他に、教員の主観による教育効果に対するアンケート実施を検討する(19 年度未検討)。また、4 年間の教育効果を点検し、次期カリキュラム検討の材料とする。

5. 教員相互の授業参観の促進(継続)

教員相互の授業参観制度を積極的に利用する。また、事前連絡なしに参観できる学部の授業の一覧を作成し、参観実績を学部で集計する(継続)。

ビデオ撮影と編集の方法を FD 勉強会等で紹介し、各教員が試せるようにする。

6. 新型コロナウイルス対策

遠隔授業方法に関する FD 研究会を開催し、学部教員間での相互支援を促進する。研究会を対面で開催できない場合はビデオ会議システムを用いて実施する。

以上